

きらめき
可児の人
29

ハワイアンフラを伝える喜び

永野 啓子さん (桜ヶ丘・61歳)



素敵な「笑顔」も踊りの一部です

公民館やカルチャースクールでハワイアンフラを指導する傍ら、東可児中学校区の「ワンチャレフェスタ」や、文化祭における地域住民や学生へのフラ指導、福祉施設訪問など、ボランティア活動も行っている永野さん。

和裁の仕事をしていたころに座っている時間が長かったため、何かいい運動はないかと探していた所、雑誌で記事を見かけたのがフラとの出会いでした。フラを始めて約12年。今では3歳から70歳の多くの生徒に慕われる先生として輝いています。

フラの魅力について、「五感で感じられる所です。心が癒される音楽、目にも鮮やかな衣装とともに、皆で踊るのは本当に楽しいですよ。」と笑顔で答えてくれました。

「自分が学んだことを人に伝える過程が喜び」と永野さん。和やかな雰囲気大切に、フラを通じた活動を続けていきたいというのが目標です。



現在でも窯元が集まる大平地区



「加藤景豊之碑」

【場所】



ふるさと再発見 22

美濃焼の祖を称えて～加藤景豊の碑～

可児では、古くから美濃焼の産地として陶器が生産されてきました。特に、久々利の太平・大萱地区にはたくさんさんの陶工が住み、志野や織部などが焼かれてきました。美濃焼の基礎を作ったと言われる陶祖の一人に、加藤五郎衛門尉景豊という人物がいます。大平窯に関する資料によると、景豊は永禄6年(1563年)に瀬戸から織田信長の朱印状を持ち、良い土を産出する大平で窯を開いたと言われています。現在でも、大平の山中にはその当時の窯跡がいくつも残っており、焼き物が盛んに生産されていたことが分かります。その後昭和37年に、地域住民や陶芸家などによって景豊の法要が行われ、昭和40年には景豊の功績をたたえて顕彰碑が建てられました。「美濃焼元祖加藤景豊」と刻まれた碑は、その歴史を今に伝えていきます。現在でも、4月下旬に「景豊奉賛会」として、地元のお祭りを兼ねた式典が行われています。

問合せ先 市史編さん室

みなさんの
善意



次の皆さんから寄付がありました。ありがとうございました。(敬称略)

社会福祉に...

- 可児福音協会クリスマスミュージカル
- 水墨画クラブ渡辺金夫
- 佐藤年政
- コミュニティホールLet's
- かにフリーマーケットの会
- 鈴木喜司子

行政・災害情報伝達のために...

- (社)岐阜新聞岐阜放送社会事業団

「みんなの写真館」



こういちろう
瀧口倅一郎くん
(2歳・中恵土)
「祝2歳!すくすく育ってね」



りせ
前田琳星ちゃん
(9カ月・川合)
「お菓子のカタログ、どれもおいしそうだなあ」



いぶきのぞみ
後藤唯吹ちゃん、望見ちゃん
(ともに3歳・下切)
「りんご、おいしかったね♪」

みんなの写真館は今号を持って終了致します。今までたくさんのご応募ありがとうございました。



学校からこんにちは 6 Educé 9

旭小学校

旭小学校は、大森地区と姫治地区を校区にして昭和43年に開校し、昨年度創立40周年を迎えました。当初は少なかった児童数も年々増え、今では700名を超す大規模校になりました。

「豊かな心でやりぬく旭の子」を目指して、「明るいうたごえ・さわやかあいさつ・びかびか掃除」を学校の3つの自慢にしようみんなで取り組んでいます。学校のリーダーである6年生を中心に、あいさつの輪を広げる取り組みも進めています。

もう1つの自慢は「えがおの森」です。自然豊かな森は、生活科の学習や環境学習の生きた教材となり、児童会行事でも活用しています。この森は、児童が安全に体験できるよう、地域やPTAの方たちの協力で整備されています。

また、クラスの団結を深めるために、12月から大縄跳びの練習をしています。2月3日に行った「空までジャンプ」では、各クラスが新記録に挑戦しました。

創立：昭和43年
児童数：704人(22学級)
所在地：大森2078-3
電話：62-0302



声を出し合い、みんなでジャンプ!